科目名称：	インテリア・コーディネート演習Ⅰ	
担当者名：	大場新之助、西田恵子、塩村亜希、森みち子、山本周	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	8

授業の目的・テーマ

インテリアコーディネーターになるための知識や技術の基礎を身につける。また、インテリアコーディネーター資格取得を目指すための基礎を学び、身につける。

授業の達成目標・到達目標

インテリアコーディネートを実践するための知識と技術の基礎を身につけ、簡単なインテリアコーディネートが行える。また、資格取得のための基礎知識や基礎技術を身につける。

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、美術を通して様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、美術を通して、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	美術の分野において基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用し表現していくことができる。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)			90	10	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容１》大場新之助：デザイナー	《経験年数１》　14年
	《内容２》山本周：建築士	《経験年数２》　14年
	《内容３》西田恵子：インテリアコーディネーター、講師	《経験年数３》　27年
	《内容４》塩村亜希：建築士(住宅、店舗設計)インテリアコーディネーター、企画広報デザイナー(兼任)	《経験年数４》　27年
	《内容５》　森みち子：建築士(一般住宅設計)、インテリアコーディングネーター	《経験年数５》　12年

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識	インテリアコーディネートに関する知識がよく身についていて、それをもとに問題解決できる。	インテリアコーディネートに関する知識が身についていて、それをもとに問題解決しようとしている。	インテリアコーディネートに関する知識を持っている。	インテリアコーディネートに関する知識があまり身についていない。
表現力	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて人に感動を与える魅力的な提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて人に伝わる提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いているが分かりにくく魅力がない。
行動力	事前準備や調査が十分にできている。興味がある分野を独自に研究できる。	事前準備や調査ができている。興味がある分野がある。	事前準備や調査ができている。	事前準備や調査を怠っている。
プレゼンテーション力	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えることができる。説得力ある主張ができる。	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えることができる。	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えようとしている。	自分の考えや提案がまとまっておらず、理解し難い。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回　インテリアコーディネートの基礎	インテリアコーディネートの具体例を調べておく。	120分
第２回　インテリアコーディネートの実践1	優れたインテリアコーディネートを集めておく。	120分
第３回　インテリアコーディネートの実践2	具体的なインテリアアイテムを調べておく。	120分
第４回　インテリアコーディネートの実践3	DIYの道具の使用方法を調べておく。	120分
第５回　インテリアコーディネートの実践4	インテリアの歴史について調べておく。	120分
第６回　インテリアコーディネートの実践5	カラーコーディネートについて調べておく。	120分
第７回　インテリアコーディネーター資格学科基礎1	教科書を通読しておく。	120分
第８回　インテリアコーディネーター資格学科基礎2	建築関係の法規に関して調べておく。	120分
第９回　インテリアコーディネーター資格プレゼン基礎1	基本的な作図方法を調べておく。	120分
第10回　インテリアコーディネーター資格プレゼン基礎2	模型制作に必要な素材を集めておく。	120分
第11回　インテリアコーディネーター資格プレゼン基礎3	参考となる魅力的なプレゼンボード資料を収集しておく。	120分
第12回　インテリアコーディネーター資格論文基礎1	マインドマップなどを用いて自身の考えをまとめておく。	120分
第13回　インテリアコーディネート演習1	テーマに対して資料を揃えアイデアを出しておく。	120分
第14回　インテリアコーディネート演習2	コンセプトを決めてプランを練っておく。	120分
第15回　インテリアコーディネート演習3	プランを魅力的にプレゼンテーションできるよう表現できるよう準備する。	120分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、課題にかかわらず社会の動向や環境に関して興味をもち行動すること。インテリア・コーディネーター資格試験の予習復習を怠らないことが必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 実施しない。　　その他の評価配分は、以下のとおりである。

ルーブリックによる課題の評価90%　授業への積極的関与10%

課題に対してのフィードバック

それぞれの課題をプレゼンテーション等を通して、各教員がルーブリック等を参考に評価しフィードバックする。

教科書・参考書

教科書：「インテリアコーディネーター合格テキスト」座学で主に使用します
「いちばんやさしいパースと背景画の描き方」パースの描き方が学べる参考書です
「高校生から始めるJw_cad建築製図入門」コンピュータでの図面作成方法が学べます
及び　授業時に各教員から紹介またはプリント配布